学校番号	４０７

令和３年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	４単位	年次	１年次
使用教科書	「新編国語総合」（大修館書店）						
副教材等	「新常用漢字必携パーフェクトクリア」（尚文出版）「古典文法要点整理ノート」（数研出版）「トータルサポート 新国語便覧」（大修館書店） 「漢字とことば　国語常識学習課題」（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

国語総合は４単位ですが、国語総合α（現代文）と国語総合β（古典）の２単位ずつに分けて学習していきます。
国語総合αでは、さまざまな文章を読み取る力を向上させるとともに、コミュニケーション能力を高めるための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかり身に付けてください。授業内で漢字の小テストを適宜行い基礎力の定着を図ります。
国語総合βでは、文章を読みながら、古典独特の読み方やリズムに慣れ親しんでいきましょう。
授業内には適宜小テストを行い、基礎力の定着度を確認します。

２　学習の到達目標

正確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することが出来る。
目的や場に応じて、適切に自分の考えを表現することが出来る。
伝統的な言語文化に対する関心を深め、国語を尊重する態度を育んでいる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	言語文化に対する関心を深め、国語を適切に表現し的確に理解する能力の向上を図ろうとする。	自分の考えを持ち、目的や場に応じて、効果的に話し、相手の考えを尊重し的確に聞き取ったりしている。	相手や目的に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化および言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認および分析 （ノート、ワークシート）	記述の確認および分析 （ノート、ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート） 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。
「知識・技能」「思考・判断・表現」の評価を考査や授業内の活動で評価していきます。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	随想1	【近代以降】 「ワンダフル・プラネット」	○	○		○	○	a:教材に興味をもって意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:自身が感じた体験を他の人に伝わるように分かりやすく話している。 d:表現に基づいて筆者の意図を理解している。 e:語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	a:記述の点検 b:行動の観察 d:記述の分析及び定期考査 e:行動の観察、記述の確認
	小説1	「バスに乗って」	○			○	○	a:教材に興味をもって意欲的に学習に取り組もうとしている。 d:登場人物の会話や行動から心情を読み取っている。 e:語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	a:行動の観察、記述の点検 d:記述の分析及び定期考査 e:行動の観察、記述の確認
	評論1	「ボランティアという名の『無償材』」		○		○	○	b: 写真を比較して筆者の考えを確認し，自分の意見を伝えようとしている。 d:筆者の考えや主張を的確に読み取っている。 e: 評論の段落構成のあり方や接続語、具体例の役割について理解している。	b:行動の観察 d: 記述の確認及び定期考査 e:行動の観察、記述の確認
	詩	「一つのメルヘン」	○			○	○	a:詩の読み方、楽しみ方を身につけようとしている。 d:作品に込められた筆者の心情やそこから想像されるものについて、理解を深めている。 e:他者の他の作品に触れるなどして作者についての理解を深めている。	a: 行動の観察 d: 記述の確認 e:行動の観察、記述の確認

	古文入門(1)	【古典】 説話『宇治拾遺物語』「児のそら寝」 文法等　歴史的仮名遣い、文語の同士の基礎	○			◎	○	a:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:記述の点検
2学期	小説2	教材:「羅生門」	○		○	○	○	a：教材に興味をもって意欲的に学習に取り組もうとしている。 c:下人の心情を理解し、老婆の心理をふまえた上で、自分の意見を記述している。 d:登場人物の行動と心情を読み取っている。 e:作品や作者についての知識を深めている。	a:行動の観察、記述の点検 c:記述の確認および分析 d:記述の分析及び定期考査 e:記述の点検及び定期考査
	随想2	「季節の言葉と出会う」	○		○	○		a:身近な話として興味を持って主体的に読もうとしている。 c:　文章を読んで感じたことを，自分の言葉で表現している。 d:構成を意識して随想を読み，海外と日本での経験を通して筆者が考えたことを読み取っている。	a:行動の観察、記述の点検 c:記述の確認および分析 d:記述の分析及び定期考査
	随筆	【古典】 『徒然草』 「奥山に，猫またといふもの」 『枕草子』 「にくきもの」 文法等　文語の用言の活用	○			◎	○	a:作者の考え方について文章を通して読み取ろうとしている。 d:文章に描かれている情景を、文章、語句に基づいて読み取っている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。 『枕草子』および作者について，概略を理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

	漢文入門	故事成語 「守株」 「推敲」	○			◎	○	a:我が国の言語文化は、中国をはじめとする外国の文化の受容とその変容を繰り返しつつ築かれてきたことに気付こうとしている。 d:文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。 e:漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
3学期	小説(三)	教材:「夢十夜」	○	○		○	○	a:作品に興味をもって意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:「第一夜」と「第六夜」のどちらが興味深かったかについて分かりやすく話している。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み，その人物像をとらえている。 e:語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	a:行動の観察、記述の点検 b:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e: 記述の点検
	短歌・俳句	「短歌」「俳句」	○	○			○	a:作品を音読し、韻律の響きを味わおうとしている。 b: 情景や心情の描写を取り入れて，短歌、俳句を作っている。 e: 詠嘆表現、体言止め，切れ字，対比，比喩などが，表現上の特別な効果を生み出すことがあることを理解している。	a:行動の観察 b:行動の観察 e: 記述の確認
	物語 漢詩	『伊勢物語』 「筒井筒」 文法等　文語の用言の活用 「春望」	○			○	○	a:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 d:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。 e:古文漢文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:記述の確認及び定期考査

	唐詩	「春暁」	○			◎	○	a: 漢詩にうたわれた情景を読み取り，作者の心情をとらえようとしている。 d: 作者の心情を理解している。 e: 詩の詩形・押韻・対句を理解している。訓点に従って，漢詩を正確に読み，書き下している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:記述の点検及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力
c:書く能力　d:読む能力　e:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。